

1 現状と課題

〔現 状〕

- 本県製造業における付加価値額の約8割を大企業及び地域中核企業が創出し、地域中核企業は成長分野の担い手として本県の経済・雇用を牽引
- 県、地域金融機関、産業支援機関等の連携による「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム^{*}」を平成30年（2018年）4月に設置し、県内企業約90社を訪問し、課題・ニーズ把握及び支援を実施
- 地域中核企業等が策定した50件の地域経済牽引事業計画^{*}を承認（令和元年度（2019年度）末時点）し、同計画に基づき98億円の付加価値を創出（令和元年度（2019年度）実績）
- 地域金融機関と連携した取組等によりスタートアップ企業^{*}の発掘、支援を実施

〔課題と方向性〕

- 県経済の持続的成長のためには地域経済を牽引する企業の創出・成長が欠かせないことから、地域未来牽引企業^{*}、地域経済牽引事業計画承認企業等、より多くの付加価値創出が見込まれる成長意欲の強い企業に対して重点的な支援が必要
- 地域中核企業等による生産性向上、付加価値増加に向け、企業ニーズ等の収集に努めるとともに、企業が行う人材・技術・ノウハウ等の確保に向けた事業規模拡大等の取組への支援が必要

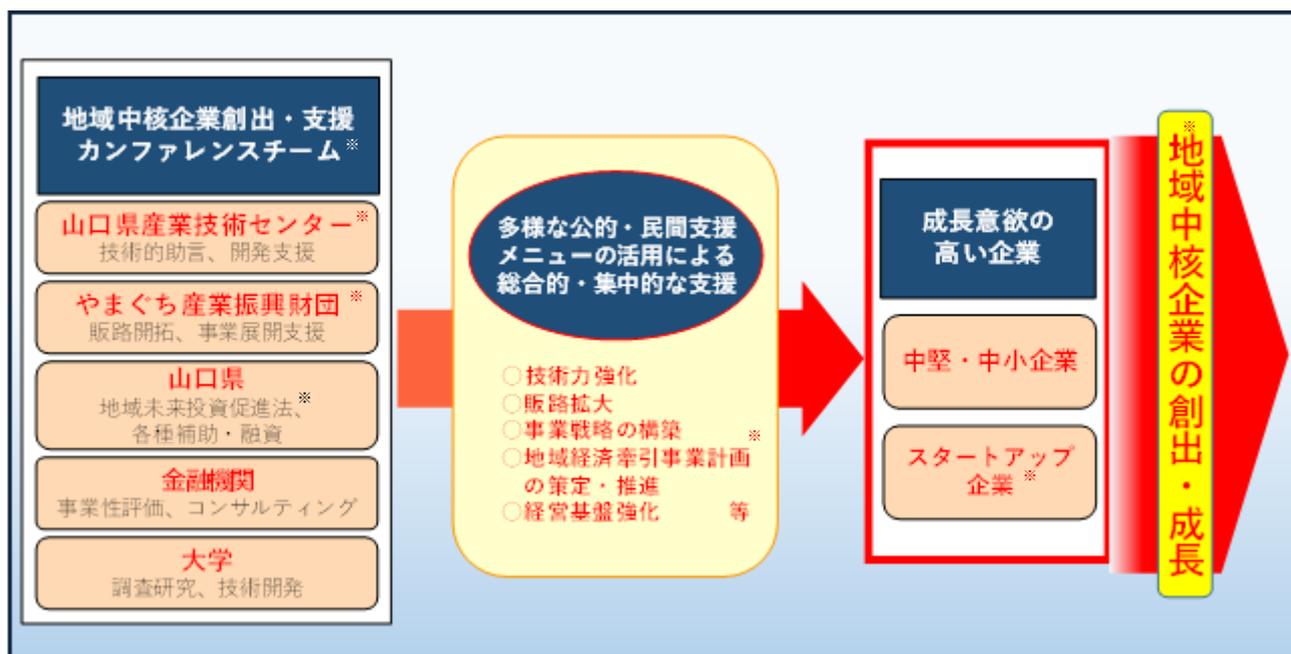
2 プロジェクトの概要

「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム^{*}」による総合サポートの実施

- 県、地域金融機関、産業支援機関等による「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム」において、各支援機関の強みを活かした多様な公的・民間支援メニューにより、技術力強化、販路拡大、事業戦略の構築等、成長意欲の強い企業に対する重点的な支援を実施
- 今後の成長が見込まれるスタートアップ企業^{*}に対する支援を実施

地域中核企業^{*}等による生産性向上、付加価値増加に向けた取組の促進

- 新たな付加価値の創出に向けて、地域未来投資促進法^{*}に基づく地域経済牽引事業計画^{*}の策定・推進を支援
- 現行の県地域未来投資促進基本計画^{*}の計画期間が令和4年度（2022年度）末で終了するため、次期基本計画を策定
- 地域中核企業等の経営基盤強化への支援（関係機関との連携体制によるM&A^{*}の促進等）や、中小企業の成長促進に向けた経営者との情報交換会等の開催



3 工程表

取組	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム*」による総合サポートの実施	<p><カンファレンスチームによる重点的な支援> 連絡会議の開催、企業訪問等によるニーズ収集・支援（技術的助言、販路開拓、金融支援等）</p>		
地域中核企業*等による生産性向上、付加価値増加に向けた取組の促進	<p><地域経済牽引事業*の創出促進> 地域経済牽引事業計画*の策定・推進に係る支援</p>		
	<p><地域未来投資促進基本計画*の策定> 次期基本計画の策定</p>		<p>基本計画に基づく地域経済牽引事業計画の承認等</p>
	<p><地域中核企業等の経営基盤の強化への支援等の実施> ・関係機関との連携体制によるM&A*の促進等 ・中小企業の成長促進に向けた経営者との情報交換会等の開催</p>		

4 取組目標（指標）

指標名	現状値		令和5年度(2023年度)目標値
	数値	基準年/年度	
地域経済牽引事業計画*承認件数(累計)	50件	令和元年度(2019年度)	110件
地域経済牽引事業*による付加価値増加額	98.1億円		115億円/3年